

令和 8 (2026) 年度

山形大学大学院社会文化創造研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

令和 7 (2025) 年 6 月

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	入学定員・募集人員	3
III	日程表	3
IV	出願資格・出願要件	4
V	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	7
VI	コース別募集要項細目	
	社会文化システムコース	8
	臨床心理学コース	15
	芸術・スポーツ科学コース	20
VII	共通事項	
	1 入学検定料支払い方法	26
	2 受験者心得	28
	3 授業料	29
	4 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置	29
	5 長期履修学生制度	29
	6 入学試験個人成績の開示・請求方法について	29
	7 その他	30

問合せ・書類送付先

内容	担当部署	住所
社会文化システムコースに関する こと	小白川キャンパス事務部入試課 人文社会科学部担当 TEL:023-628-4207	〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4 番 12 号
臨床心理学コースに関する こと	小白川キャンパス事務部入試課 地域教育文化学部担当 TEL:023-628-4310	
芸術・スポーツ科学コース に関する こと		

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会文化創造研究科は、人文社会科学及び芸術・スポーツ科学の各分野において、高度な専門的知識や技能を涵養するとともに、各分野において地域社会の健全な発展向上に寄与することができる高度専門職業人を養成します。そして、専門的知識や技能を育成するため、世界的な視野から地域における諸課題に積極的に取り組み、分析し、その課題を解決できる能力を持った人材を育成します。そのため、多様な視点や広い視野を獲得して課題解決に積極的に応えていく意欲のある人を、国内外から広く受け入れます。

＜求める学生像＞

- ・人文社会科学と芸術・スポーツ科学の各分野における高度な専門的知識と技能を身に付け、実践的な能力を高めたいという意欲と能力を持つ人
- ・今日の国際社会や地域社会の抱える諸課題に対し、積極的に取り組み解決しようとする意欲と能力を有している人

各コースの入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)、求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

〔社会文化システムコース〕

社会科学及び人文科学に分類される学問領域の垣根を低くし、相互の融合を図りながら、人間の活動を「社会」と「文化」の関係から広く捉える視座に立ち、世界的視野から国家や地域の理解・発展に寄与できる地域創生人材を養成することを目標とし、外国人留学生を積極的に受け入れ、学部卒の進学生、外国人留学生、国内外の社会人等、多様な背景を持った学生どうしの協働や切磋琢磨を通じて課題解決力を高めていく教育の場を整備しています。

◆求める学生像

- ・社会科学や人文科学に関する基礎的な学力を有し、社会や文化の現象を探究したいと考えている人
- ・人間の活動から生まれる諸問題に強い関心を示し、それらを解決しようとする意欲がある人
- ・専門的知識や技術を活用し応用することによって、グローバル・ローカル双方の視点をもって国際社会や地域社会に貢献しようとしている人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学試験を次の①～⑤の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制の大学を卒業していること、又は卒業見込みであること等を出願資格とし、口述試験・出願書類を総合して選抜する。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、出願時において四年制の大学を卒業後3年以上経過していること等を出願資格とし、口述試験・出願書類を総合して選抜する。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないこと等を出願資格とし、口述試験・筆記試験（日本語）・出願書類を総合して選抜する。

④ 推薦入試

大学の4年次に在学し、指導教員からの推薦書を提出できること等を出願資格とし、面接・出願書類を総合して選抜する。

⑤ 協定校（外国人留学生）推薦入試

日本国籍を持たず、本学並びに本学人文社会科学部と交流協定を締結している大学を卒業又は卒業見込みであること等を出願資格とし、出願書類により選抜する。

〔臨床心理学コース〕

臨床心理学コースは、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等の領域において、適切かつ確実な心理支援のできる高度専門家(臨床心理士、公認心理師等)として従事するために必要な資質・能力を養成します。

◆求める学生像

- ・心理職を強く志向し、心理支援の実践力を身に付けたいという意欲を持つ人
- ・心理職に求められるコミュニケーション能力を持つ人
- ・臨床心理学に関する専門的な知識と技術を身に付けたいという意欲を持ち、かつ、努力し続けることができる人
- ・専門性を活かしながら社会的な役割を担うことを目指し、その実現のために努力することができる人

◆入学選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学試験を、次の①～④の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制大学を卒業していること、又は卒業見込であることを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、入学予定時に3年以上の職業経験を有することを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないことを出願資格とし、筆記試験と面接及び出願書類によって合否判定を行う。

④ 推薦入試

出身大学（本学を含む）の指導教員の推薦を受け、合格した場合には入学を確約できる者であること等を出願資格とし、出願書類によって合否判定を行う。

〔芸術・スポーツ科学コース〕

芸術・スポーツ科学コースでは、音楽芸術、造形芸術、スポーツ科学それぞれの領域において、文化の活性化に寄与することができる高度専門的職業人を養成します。

音楽芸術では、学部で修得した音楽芸術に関する基礎知識や技能等を基に、個に応じた授業を通し、更に高度で専門的な技能の向上や指導力の涵養を図り、地域において指導的な役割を担う人材を養成します。また、演奏会等の企画・運営・実践を通して音楽事業のコーディネート能力とマネジメント能力を涵養し、地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる人材を養成します。

造形芸術では、学部で修得した造形芸術に関する基礎知識や技能等を基に、絵画、彫刻、芸術学等の各専門領域において更に高度な専門的スキルと指導力を備えた人材を養成します。また、文化政策やアートマネジメントに関する実践的な能力を涵養し、公的な文化施設・団体をはじめ一般企業などの文化事業において、企画・運営・実践・指導を通して地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる人材を養成します。

スポーツ科学では、各種スポーツの技術や先端理論等を修得し、競技力向上の指導者を目指す人材を養成します。また、スポーツ活動を企画する能力を涵養すると同時に、地域社会や行政、並びに各種スポーツ団体等と有機的に連携し協働できる能力を涵養し、生涯スポーツ社会の構築を積極的に推進することのできる人材を養成します。

◆求める学生像

- ・大学の学部で音楽芸術・造形芸術・スポーツ科学の基礎的知識を修め、音楽芸術や造形芸術及びスポーツ科学の各プログラムに広い視野を持ち、高度な専門的知識や技術の修得を目指す意欲と能力を持つ人

◆入学選抜の基本方針

以上のような観点から、コースの入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学試験を、次の①～③の入試区分及び選抜方法により実施します。

① 一般入試

四年制大学を卒業していること、又は卒業見込であることを出願資格とし、各分野で指定する学力試験等（筆記試験、面接、実技試験）及び出願書類によって合否判定を行う。

② 社会人入試

大学院入学資格を有し、入学予定時に3年以上の職業経験を有することを出願資格とし、各分野で指定する学力試験等（筆記試験、面接、実技試験）及び出願書類によって合否判定を行う。

③ 外国人留学生入試

大学院入学資格を有し、日本国籍を持たないことを出願資格とし、各分野で指定する学力試験等（筆記試験、面接、実技試験）及び出願書類によって合否判定を行う。

Ⅱ 入学定員・募集人員

専攻	入学定員	コース	教育研究分野	選抜区分	募集人員	
社会文化 創造専攻	24 人	社 会 文 化 シ ス テ ム	言語・文化学 日本学 人間科学・思想文化学 歴史文化学 グローバル文化学 考古人類学 公共システム 企業システム 国際システム	第 1 回選抜試験 一般入試 外国人留学生入試 社会人入試 推薦入試 協定校（外国人留學生）推薦入試	8 人	10 人
				第 2 回選抜試験 一般入試 外国人留学生入試	2 人	
		臨床心理学	心理学	推薦入試 一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	7 人	
		芸術・ スポーツ科学	音楽芸術 造形芸術 スポーツ科学	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	6 人 ^{（注 1）}	

(注1) 芸術・スポーツ科学コースの募集人員については、「チャレンジプログラム」における進学予定者数（1人）をあらかじめ差し引いた人数を募集人員としている。また、芸術・スポーツ科学コースにおいては分野ごとに合否判定を行う。

Ⅲ 日程表

コース	選抜区分	期日及び期間	
社会文化システム	第1回選抜試験 一般入試 外国人留学生入試 社会人入試 推薦入試	出願受付期間	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 8月28日(木)
		試験期日	令和7(2025)年 9月19日(金)
		合格発表	令和7(2025)年10月 3日(金)
	協定校（外国人留学生）推薦入試	出願受付期間	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 9月 5日(金)
		試験期日	*書類審査のため、試験日は設けない。
		合格発表	令和7(2025)年10月 3日(金)
	第2回選抜試験 一般入試 外国人留学生入試	出願受付期間	令和8(2026)年 1月13日(火)～ 1月15日(木)
		試験期日	令和8(2026)年 2月 7日(土)
		合格発表	令和8(2026)年 2月10日(火)
臨床心理学	推薦入試	出願受付期間	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 8月28日(木)
		試験期日	*書類審査のため、試験日は設けない。
		合格発表	令和7(2025)年10月 3日(金)
	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	出願受付期間	令和7(2025)年10月23日(木)～10月31日(金)
		試験期日	令和7(2025)年11月15日(土)
		合格発表	令和7(2025)年12月 1日(月)
芸術・スポーツ科学	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	出願受付期間	令和7(2025)年10月23日(木)～10月31日(金)
		試験期日	令和7(2025)年11月15日(土)
		合格発表	令和7(2025)年12月 1日(月)

備考：出願受付期間はいずれも土・日曜日を除く。

IV 出願資格・出願要件

1 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和 8(2026)年 3 月までに該当する見込みの者

- (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条第 1 項に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号)
- ※ (9) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※ (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
- ※ (11) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※ (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8(2026)年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

2 社会人入試

令和 8(2026)年 4 月 1 日時点において官公庁、企業又は教育機関等での 3 年以上の職業経験を有する者(社会文化システムコースにおいては、出願時において卒業後 1 年以上継続して職業経験を有する有職者、又は卒業後 3 年以上経過している者も含む)で、次の各号のいずれかに該当する者、又は令和 8(2026)年 3 月までに該当する見込みの者

(注)要件における職業経験には、アルバイト等の定職とみなされないものは含まれない。

- (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条第 1 項に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者

- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ※ (9) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※ (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
- ※ (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※ (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8(2026) 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

3 推薦入試

次の各号すべてに該当する者

- (1) 大学の 4 年次に在籍する者で、令和 8(2026) 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学業成績が優秀で大学院における勉学や研究に意欲があり、合格した場合には、入学することを確約できる者
- (3) 令和 7(2025) 年 3 月 31 日までに、現在在学する大学の卒業に必要とされる単位数の 80% 以上を修得している者
- (4) 令和 7(2025) 年 3 月 31 日までの修得単位のうち、得点評価を受けた単位の 75% 以上が、100 点満点で 80 点以上の評価を受けた者
- (5) 在学する大学の現在の指導教員 1 名による推薦書を提出できる者
- (6) 社会文化創造研究科へ入学した場合に指導が予定される本学教員とあらかじめ研究計画について面談した者

4 外国人留学生入試

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は令和8(2026)年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 外国人留学生として、大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (8) 外国人留学生として、専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ※(9) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- ※(10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8(2026)年3月31日までに22歳に達する者

5 協定校（外国人留学生）推薦入試

日本国籍を有しない者で、出願の際に日本に居住していない者のうち、次の各号すべてに該当する者

- (1) 山形大学又は山形大学人文社会科学部と交流協定を結んでいる大学を令和6(2024)年4月1日から令和8(2026)年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者（ただし、学校教育における15年の課程を修了した者については資格審査を行う。）
- (2) 学業成績が優秀で大学院における勉学や研究に意欲があり、合格した場合には、入学することを確約できる者
- (3) 在学大学又は卒業した大学の交流責任教員による推薦書を提出できる者
- (4) 本研究科教員の受入れ承諾書（様式任意）を提出できる者
- (5) 日本語能力試験においてN1レベルと認定された者

(注) 山形大学又は山形大学人文社会科学部と交流協定を結んでいる大学は、本学ホームページ (<https://www.yamagata-u.ac.jp>) 「国際交流・留学」の「国際交流－学術交流協定－」を確認すること。

個別の入学資格審査

※印がついている出願資格により入学を志願しようとする者については、次のとおり事前に個別の入学資格審査を行いますので、該当者は担当部署まで連絡し、申請書類の指定様式を取り寄せてください。

1 入学資格審査申請書類提出期間及び通知期日

コース	提出期間	審査結果通知期日
社会文化システム (第1回選抜試験・ 社会人入試)	令和7(2025)年7月14日(月)～16日(水)	令和7(2025)年8月1日(金)
社会文化システム (第2回選抜試験)	令和7(2025)年11月17日(月)～19日(水)	令和7(2025)年12月5日(金)
臨床心理学	令和7(2025)年9月29日(月)～ 10月1日(水)	令和7(2025)年10月10日(金)
芸術・スポーツ科学	令和7(2025)年9月29日(月)～ 10月1日(水)	令和7(2025)年10月10日(金)

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。郵送の場合も提出期間内に必着のこと。

2 入学資格審査書類提出・問合せ先

本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

V 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

- 1 病気、負傷や障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願受付開始2～3週間前までに、本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」に相談すること。

区 分	対 象 と な る 者
①視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外の視覚に関する配慮を必要とする者
②聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚に関する配慮を必要とする者
③肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発 達 障 害	・学習障害、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者
⑥そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

- 2 社会文化システムコースに出願する場合、試験区分によっては、英語による出願及び受験が認められる場合があるので、第1回は7月末日、第2回は10月末日までに小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当に相談すること。

VI コース別募集要項細目

社会文化システムコース

1 出願手続

(1) 出願書類

出願書類	出願書類作成上の注意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	推薦入試	協定校(外国人留学生)推薦入試
入学願書・履歴書 写真票・受験票	指定の用紙に必要な事項を記入し、出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしのカラー写真(縦4cm×横3cm)をはること。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、プリントされた写真を再撮影しているもの等。	○	○	○	○	○
収 納 証 明 書 (「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて提出すること。)	クレジットカード又はコンビニ端末により払い込むこと。 詳細は本要項10ページ「(2) 検定料の納付」及び本要項26～27ページの「入学検定料支払い方法」を参照すること。 支払い完了後、「収納証明書」を切り取り、「 <u>収納証明書はり付け台紙</u> 」にはり付けて、 <u>他の出願書類とともに提出すること。</u> なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。	○	○	○	○	○
成 績 証 明 書 (注1、注2、注3)	最終出身校の学長(学部長)又は学校長が作成し、厳封したもの。 ただし、証明書自動発行機などで発行されたもので、複写防止用紙で作成されたものは厳封する必要はないものとする。 日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○	○	○
卒業・修了(見込)証明書 (注1、注3)	最終出身校の学長(学部長)又は学校長が作成したもの。 日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○	○	○
研 究 計 画 書 (注4、注5)	ワープロ又は手書きにより日本語で作成し、表紙には指定の用紙を用いること。	○	○	○	○	○
研 究 業 績 等 (注6)	大学又は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校その他の教育施設に在学中又は卒業・修了後に作成したもの。	該当者	該当者	該当者		○
志 望 理 由 書	指定の用紙にワープロ又は手書きにより日本語で作成すること。				○	○
推 薦 書 (注7)	指定の用紙にワープロ又は手書きにより指導教員が作成し、厳封したもの。ただし、協定校(外国人留学生)推薦入試においては、在学大学又は卒業した大学の交流責任教員が日本語で作成したもの。				○	○
入 学 確 約 書	指定の用紙を用いること。				○	○

出願書類	出願書類作成上の注意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	推薦入試	協定校(外国人留学生)推薦入試
日本語能力認定書(N1)	独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が発行したもの(コピー可)。					○
受験票等送付用封	市販の封筒(長形3号)に志願者の住所・氏名及び郵便番号を明記の上、110円分の切手をはること。	○	○	○	○	
ラベル票	指定の用紙を用いること。	○	○	○	○	○
出願書類等提出明細票	提出欄に☑印をつけること。	○	○	○	○	○
学位授与(申請)証明書	大学評価・学位授与機構が発行したもの。取得見込みの者は、「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている。」旨明記した証明書(様式任意)で、出身校長が作成したものを提出する。	該当者	該当者	該当者		
受験承諾書	大学院に在学している者は、指定の用紙を用い、所属研究科長が作成したもの。	該当者	該当者	該当者		
	官公庁・会社等に在職したまま入学しようとする者は、指定の用紙を用い、所属長が作成したもの。		該当者			
在職期間証明書	在職期間を証明するもの又はこれに代わるもの(様式任意)。		該当者			
受入承諾書	本研究科の教員が作成したもの(様式任意)。受入教員1人につき、受入承諾書は1枚しか作成できない。					○
住民票の写し	日本国籍を有していない者は、市区町村発行のもので、出願前1か月以内に交付されたものを提出すること。ただし、協定校(外国人留学生)推薦入試に出願又は受験のために滞在し、住民登録をしていない者は、パスポートの写し又はこれに代わるものを提出すること。	該当者	該当者	○	該当者	○

備考

- (注1) 外国において、学校教育における課程を修了(見込)した者(Ⅳ出願資格・出願要件1(3)又は(6)又は(9)、2(3)又は(6)又は(9)、4(3)又は(7)又は(9)、5に該当する者)については、最終学校の学業成績証明書及び卒業証明書を原本で提出すること。なお、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けること。また、研究生等の出願により、山形大学に原本を既に提出している場合は、出願の前に、あらかじめ小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当(☎(023)628-4207)に問合せること。日本語訳も併せて提出すること。
- (注2) 推薦入試に出願する場合、成績証明書のほか、卒業に必要な単位数が明記された学生便覧等の写しを併せて提出すること。なお、成績の評価が点数表記ではなく記号等で表記された成績証明書の場合は、換算表等の写しを添付すること。
- (注3) 入学願書と証明書等の氏名が異なる場合は、変更となった事実を証明できる書類の写しを添付してください。
(例. 運転免許証の裏面、戸籍抄本等)
- (注4) 修士学位論文として、その成果をまとめようと考えている具体的な研究計画を提出すること。研究テーマ、目的、方法、現在までの準備状況と予期される成果等を記した4,000字程度のもの(日本語によるもの)。ただし、推薦入試により受験する者は2,000字程度のもの(日本語によるもの)。事前相談により英語での出願が認められた場合、一般入試、留学生入試、社会人入試により受験する者は2,000語程度とし、推薦入試により受験する者は1,000語程度とする。
- (注5) 今後の研究・教育の進め方・内容等について、大学院社会文化創造研究科ホームページ「入試情報」の「**お問い合わせフォーム**」、「**希望する指導教員に連絡をとりたい**」(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp/contact/staff/>)から、**志望する教育研究分野の教員に事前に相談した上で、「指導を希望する教員名」を記入**すること(1人)。教員が担当する科目の内容については、同じく大学院社会文化創造研究科ホームページ「入試情報」の「令和8(2026)年度授業予定者授業科目一覧」を参照すること。
- (注6) 研究業績等とは、学術論文のほか卒業論文・卒業研究報告、研究調査報告等を含む。個々の業績には1,000字程度の要旨を添付すること(日本語によるもの)。事前相談により、英語での出願が認められた場合は500語程度とする。

(注7) 推薦入試においては、指導教員が推薦できる人数を、志願者1人までとする。また、推薦入試の志願者が指導教員へ推薦書を依頼できる期限は、令和7(2025)年7月31日(木)までとする。

(2) 検定料の納付

①検定料 30,000 円

(注) 本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要である。

②払込期間 日本時間の16:30まで(厳守)

選 抜 区 分	払 込 期 間
第 1 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試 社 会 人 入 試 推 薦 入 試	令和7(2025)年 8月18日(月)～8月28日(木)
協定校(外国人留学生)推薦入試	令和7(2025)年 8月6日(水)～9月5日(金)
第 2 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試	令和8(2026)年1月6日(火) ～令和8(2026)年1月15日(木)

③払込方法

- ・日本国内から出願する場合は、クレジットカード又はコンビニ端末から支払うこと。日本国外から出願する場合は、クレジットカードで支払うこと。
- ・いずれの方法で支払う場合でも、別途必要となる手数料については、志願者が負担すること。
- ・支払い方法の詳細については本要項26～27ページも併せて確認すること。
- ・検定料の支払い後、「収納証明書」(ファミリーマートで支払った場合は、レシート)を「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、出願期間内に本学に届くように提出(郵送(書留速達)又は持参)すること。
- ・なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。

④検定料の返還

既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

- ・検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。)
- ・誤って検定料を二重に払い込んだ場合
- ・出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合

⑤返還についての問合せ先

本要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

なお、申出期限は令和8(2026)年3月31日(火)までとする。

(3) 出願方法

入学志願者は、「(1) 出願書類」に掲げる書類等を取りそろえ、指定の宛名シートをはり付けた角形2号封筒(33.2cm×24cm)を用いて、本要項11ページの「出願受付期間」中に提出すること。

なお、郵送の場合は書留速達とすること。

■出願受付期間

選 抜 区 分	出 願 期 間
第 1 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試 社 会 人 入 試 推 薦 入 試	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 8月28日(木) (土・日曜日を除く。)
協定校(外国人留学生)推薦入試	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 9月 5日(金) (土・日曜日を除く。)
第 2 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試	令和8(2026)年 1月 13日(火)～ 1月 15日(木)

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。

郵送の場合も受付期間内に必着のこと。

■出願書類等の提出先：本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

(4) 出願上の注意事項

- ・入学願書等の出願書類は、大学院社会文化創造研究科ホームページ
(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp>)「入試情報」からダウンロードし、**A4判白紙に片面で**
印刷の上、記入すること。
- ・出願書類に不備のある場合は受理しない。
- ・出願手続後の提出書類の変更は認めない。
- ・出願を希望する方は、今後の研究・教育の進め方・内容等について、大学院社会文化創造研究
科ホームページ「入試情報」の「お問い合わせフォーム」,「希望する指導教員に連絡をとり
たい」(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp/contact/staff/>) から、志望する教育研究分
野の教員に事前に相談すること。
- ・出願書類中の卒業論文、研究業績等は返却するが、その他は返却しない。
- ・出願後に連絡先の変更があった場合は、直ちに届け出ること。

(5) 社会文化システムコースにおける教育研究分野とプログラムの構成について

コース	教育研究分野	プログラムの構成
社会文化システムコース	言 語 ・ 文 化 学	文化システムプログラムを 構成する分野
	日 本 学	
	人間科学・思想文化学	
	歴 史 文 化 学	
	グ ローバル文化学	
	考 古 人 類 学	考古人類学プログラムを構成する分野
	公 共 シ ス テ ム	社会システムプログラムを 構成する分野
	企 業 シ ス テ ム	
	国 際 シ ス テ ム	

2 入学者選抜方法

(1) 選抜方法及び試験日時

試験時間の詳細については、受験票送付時、本人宛に通知します。

①一般入試

■試験科目：口述試験(詳細は「(2) 試験科目」を参照。)

■試験日時

第1回選抜試験	
令和7(2025)年 9月19日(金)	
口 述 試 験	9時00分～17時00分(予定)

第2回選抜試験	
令和8(2026)年 2月 7日(土)	
口 述 試 験	9時00分～17時00分(予定)

■配 点：口述試験(300点)，合計300点

■合否判定基準：口述試験，出願書類を総合して判定する。

②外国人留学生入試

■試験科目：筆記試験(日本語)，口述試験(詳細は「(2) 試験科目」を参照。)

■試験日時

第1回選抜試験	
令和7(2025)年 9月19日(金)	
筆 記 試 験 (日本語)	9時00分～10時00分
口 述 試 験	10時30分～17時00分(予定)

第2回選抜試験	
令和8(2026)年 2月 7日(土)	
筆 記 試 験 (日本語)	9時00分～10時00分
口 述 試 験	10時30分～17時00分(予定)

■配 点：筆記試験(日本語)(50点)，口述試験(250点)，合計300点

■合否判定基準：筆記試験(日本語)，口述試験，出願書類を総合して判定する。

③社会人入試

■試験科目：口述試験(詳細は「(2) 試験科目」を参照。)

■試験日時

社会人入試	
令和7(2025)年 9月19日(金)	
口 述 試 験	9時00分～17時00分(予定)

■配 点：口述試験(300点)，合計300点

■合否判定基準：口述試験，出願書類を総合して判定する。

④推薦入試

■試験科目：面接

■試験日時

推薦入試	
令和7(2025)年 9月19日(金)	
面 接	9時00分～17時00分(予定)

■配 点：面 接(300点)，合計300点

■合否判定基準：面接，出願書類を総合して判定する。

⑤協定校(外国人留学生)推薦入試

- 選抜方法：入学者の選抜は、提出された書類により行う。(渡日前入試)
- 配点：出願書類(研究計画書、研究業績等、その他)(300点)、合計300点
- 合否判定基準：出願書類により判定する。
- 試験日は設けない。

(2) 試験科目

①一般入試：口述試験

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判5枚(片面印刷)以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書等に基づき、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について質疑応答を行う。

②外国人留学生入試

1) 筆記試験(日本語)

- ・辞書の持ち込みは許可しない。
- ・現代日本語の語彙、文法、読解、作文を中心に出题する。

2) 口述試験

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判2枚(片面印刷)以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書等に基づき、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について質疑応答を行う。

③社会人入試：口述試験

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判2枚(片面印刷)以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書等に基づき、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について質疑応答を行う。

④推薦入試：面接

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判2枚(片面印刷)以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書に基づき、今後の研究について質疑応答を行う。

(3) 各試験の採点評価基準

①一般入試(口述試験)：

志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究計画について評価する。

②外国人留学生入試

- 1) 筆記試験(日本語)：基本的な日本語能力を有するかどうかを評価する。
- 2) 口述試験：基本的な日本語運用能力、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究計画について評価する。

③社会人入試(口述試験)：

志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究計画について評価する。

④推薦入試(面接)：

志願する研究分野に関する基本的理解及び今後の研究計画について評価する。

(4) 試験場 山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町一丁目 4番12号)

3 合格者の発表

選 抜 区 分	合 格 者 発 表 予 定 時 刻
第 1 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試 社 会 人 入 試 推 薦 入 試 協定校(外国人留学生)推薦入試	令和7(2025)年10月 3日(金)11時
第 2 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試	令和8(2026)年 2月10日(火)11時

本人宛てに合格通知書を送付する。

また、社会文化創造研究科ホームページ(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp>)内に合格者の受験番号を掲載する。電話等による可否の問合せには一切応じない。

4 入学手続

(1) 入学手続期間(予定)

選 抜 区 分	入 学 手 続 期 間
第 1 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試 社 会 人 入 試 推 薦 入 試 協定校(外国人留学生)推薦入試	令和7(2025)年10月16日(木)～10月21日(火) (土・日曜日を除く。)
第 2 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試	令和8(2026)年 2月17日(火)～ 2月20日(金)

詳細は、合格通知の際に連絡する。

(2) 提出書類

入学誓書, 写真等

(3) 入学金

入学金 282,000円 (注)入学手続の際に、入学金を納付する。

5 追加合格

入学手続完了者数が募集人員に満たない場合は、追加合格を行う場合がある。

追加合格を行う場合の入学意思の確認は、次の期間に入学願書の「現住所」欄に記入された電話番号に問合せで行うので、電話番号の記載に十分注意すること。

選 抜 区 分	追 加 合 格 実 施 予 定 期 間
第 1 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試 社 会 人 入 試 推 薦 入 試 協定校(外国人留学生)推薦入試	令和7(2025)年10月23日(木)～10月27日(月)
第 2 回 選 抜 試 験 一般入試 外国人留学生入試	令和8(2026)年 2月25日(水)～ 2月27日(金)

臨床心理学コース

1 出願手続

(1) 出願書類

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	推薦 入試	一般 入試	社会人 入試	外国人留 学生入試
入学願書・履歴書	指定の用紙を用いること。	○	○	○	○
受験票・写真票	出願前 3 か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしのカラー写真(4cm×3cm)を写真票の所定欄にはること。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、プリントされた写真を再撮影しているもの等。	○	○	○	○
研究希望調書	指定の用紙を用いること。	○	○	○	○
卒業(修了)証明書 又は卒業(修了) 見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○	○
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。 ただし、証明書自動発行機などで発行されたもので、複写防止用紙で作成されたものは厳封する必要はないものとする。 日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○	○
収納証明書 (「収納証明書はり 付け台紙」にはり 付けて提出すること。)	クレジットカード又はコンビニ端末により払い込むこと。 詳細は本要項 16 ページ「(2) 検定料の納付」及び本要項 26～27 ページの「入学検定料支払い方法」を参照すること。 支払い完了後、「収納証明書」を切り取り、「 <u>収納証明書はり付け台紙</u> 」にはり付けて、 <u>他の出願書類とともに提出すること。</u> なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。	○	○	○	○
受験票等返信用 封	市販の封筒(長形 3 号: 23.5cm×12cm)に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、110 円分の切手をはったもの。	○	○	○	○
ラベル票	指定のラベル票に、合格通知及び入学手続関係の書類を受ける郵便番号・住所・氏名(本人氏名)・電話番号を記入すること。	○	○	○	○
出願書類等提出 明細票	提出欄に☑印をつけること。	○	○	○	○
推薦書	在学する大学の現在の指導教員 1 名による推薦書。A4 判用紙。書式は任意。	○			

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	推 薦 入 試	一 般 入 試	社 会 人 入 試	外 国 人 留 学 生 入 試
志 望 理 由 書	A4 判用紙 1 枚程度(1,600 字以内)。書式は任意。	○			
入 学 確 約 書	指定の用紙を用いること。	○			
学 士 の 学 位 授 与 証 明 書	大学改革支援・学位授与機構(旧：大学評価・学位授与機構)が発行したもの。		該 当 者		
受 験 承 諾 書	指定の用紙を用い、大学院在学者については所属研究科長が、官公庁・会社等に在職したまま入学しようとする者については所属長が作成したもの。		大学院に在学している者または 官公庁・会社等に在職したまま 入学しようとする者		
住 民 票 の 写 し	受験のために滞在し、外国人登録をしていない者は、パスポートの写しを提出すること。	外国人で、住民登録をしている者			

備考

- (注 1) 外国において、学校教育における課程を修了(見込)した者については、最終学校の成績証明書及び卒業証明書を原本で提出すること。(原則として原本とするが、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けること。)日本語訳も併せて提出すること。
- (注 2) 入学願書と証明書等の氏名が異なる場合は、変更となった事実を証明できる書類の写しを添付してください。(例、運転免許証の裏面、戸籍抄本等)
- (注 3) 出願資格の「1 一般入試」、「2 社会人入試」の(2)及び「4 外国人留学生入試」の(2)の学位を取得見込みの者により出願する者は、さらに次の書類を提出すること。
学位授与申請受理証明書又は「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている」旨が明記されている証明書(様式任意)で、出身大学長(出身学校長)が作成したもの。

(2) 検定料の納付

①検定料 30,000 円

(注) 本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要である。

②払込期間 日本時間の 16：30 まで(厳守)

選 抜 区 分	払 込 期 間
推 薦 入 試	令和 7(2025)年 8 月 18 日(月)～ 8 月 28 日(木)
一 般 入 試, 社 会 人 入 試, 外 国 人 留 学 生 入 試	令和 7(2025)年 10 月 16 日(木)～10 月 31 日(金)

③払込方法

- 日本国内から出願する場合は、クレジットカード又はコンビニ端末から支払うこと。日本国外から出願する場合は、クレジットカードで支払うこと。
- いずれの方法で支払う場合でも、別途必要となる手数料については、志願者が負担すること。
- 支払い方法の詳細については本要項 26～27 ページも併せて確認すること。
- 検定料の支払い後、「収納証明書」(ファミリーマートで支払った場合は、レシート)を「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、出願期間内に本学に届くように提出(郵送(書留速達)又は持参)すること。
- なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。

④検定料の返還

既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

- 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。)
- 誤って検定料を二重に払い込んだ場合
- 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合

⑤返還についての問合せ先

本要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。
 なお、申出期限は令和8(2026)年 3月31日(火)までとする。

(3) 出願方法

入学志願者は、「(1) 出願書類」に掲げる書類等を取りそろえ、指定の宛名シートをはり付けた角形2号封筒(33.2cm×24cm)を用いて、下記出願受付期間中に提出すること。
 なお、郵送の場合は書留速達とすること。

選 抜 区 分	出 願 受 付 期 間
推 薦 入 試	令和7(2025)年 8月21日(木)～ 8月28日(木) (土・日曜日を除く。)
一 般 入 試, 社 会 人 入 試, 外 国 人 留 学 生 入 試	令和7(2025)年 10月23日(木)～10月31日(金) (土・日曜日を除く。)

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。

郵送の場合も受付期間内に必着のこと。

■出願書類等の提出先：本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

(4) 出願上の注意事項

出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めない。

2 入学者選抜方法

推薦入試：志望理由書、研究希望調書、推薦書等の出願書類により行う。

一般入試，社会人入試，外国人留学生入試

：学力試験等及び出願書類の審査結果を総合して行う。

したがって、本コースの課す学力試験等をすべて受験しなければ失格となる。

なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがある。

(1) 試験期日

選 抜 区 分	試 験 期 日
推 薦 入 試	書類審査のため、試験日は設けない。
一 般 入 試, 社 会 人 入 試, 外 国 人 留 学 生 入 試	令和7(2025)年 11月15日(土)

(2) 試験科目及び時間割

選 抜 区 分	外国語科目 又は小論文	専門科目	面 接
推 薦 入 試			
一 般 入 試	9時00分～10時00分 英語	10時30分～12時00分 臨床心理学	13時00分～
社 会 人 入 試	9時00分～10時00分 小論文	10時30分～12時00分 臨床心理学	13時00分～
外国人留学生入試			

○外国語科目では、辞書 1 冊の持ち込みを認める。(専門用語辞書及び電子辞書のたぐいは、持ち込みを認めない。)

(3) 試験の配点

- ①推薦入試(合計 400 点)：出願書類(400 点)
- ②一般入試(合計 400 点)：外国語科目(100 点)，専門科目(200 点)，面接(100 点)
- ③社会人・外国人留学生入試(合計 400 点)：小論文(100 点)，専門科目(200 点)，面接(100 点)

(4) 試験場 山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町一丁目 4 番 12 号)

3 合格者の発表

選 抜 区 分	合 格 発 表 日
推 薦 入 試	令和 7(2025)年 10 月 3 日(金) 11 時
一 般 入 試, 社 会 人 入 試, 外 国 人 留 学 生 入 試	令和 7(2025)年 12 月 1 日(月) 11 時

本人宛てに合格通知書を送付する。

また、社会文化創造研究科ホームページ(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp>)内に合格者の受験番号を掲載する。電話等による合否の問合せには一切応じない。

4 入学手続

合格者には、合格通知書及び入学に際し必要な書類を送付する。

(1) 入学手続期間

選 抜 区 分	入 学 手 続 期 間
推 薦 入 試	令和 7(2025)年 12 月 8 日(月)～12 月 11 日(木)
一 般 入 試, 社 会 人 入 試, 外 国 人 留 学 生 入 試	

受付時間は、9 時から 16 時 30 分までとする。

(2) 提出書類

入学誓書、学生証用写真はり付け用紙等

(3) 入学料

入学料 282,000 円 (注)入学手続の際に、入学料を納付する。

5 追加合格

入学手続完了者数が入学定員に満たない場合は、追加合格を行う場合がある。

追加合格を行う場合の入学意思の確認は、令和 7(2025)年 12 月 12 日(金) から 12 月 18 日(木) までの間に入学願書の「現住所」欄に記入された電話番号に問合せを行うので、電話番号の記載に十分注意すること。

6 資格の取得について

(1) 公認心理師（国家資格）試験受験資格

臨床心理学コースでは、公認心理師施行規則第2条に掲げる大学院における公認心理師となるために必要な科目を開講している。学部段階で、大学における公認心理師となるために必要な単位を修得した者は、大学院で所定の単位を修得することによって、公認心理師の受験資格を得ることができる。

(2) 臨床心理士試験受験資格

臨床心理学コースは、(財)日本臨床心理士資格認定協会により、臨床心理士を養成するための第1種指定大学院として指定を受けている。臨床心理学コースに所属し2年次の臨床心理実習90～180時間を含む指定の授業科目を履修した学生は、修士課程修了後、臨床心理士の受験資格を得ることができる。

芸術・スポーツ科学コース

1 出願手続

(1) 出願書類

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
入学願書・履歴書	指定の用紙を用いること。	○	○	○
受験票・写真票	出願前 3 か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしのカラー写真(4cm×3cm)を写真票の所定欄にはること。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、プリントされた写真を再撮影しているもの等。	○	○	○
研究希望調書	指定の用紙を用いること。	○	○	○
卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。ただし、証明書自動発行機などで発行されたもので、複写防止用紙で作成されたものは厳封する必要はないものとする。 日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳も併せて提出すること。	○	○	○
収 納 証 明 書 (「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて提出すること。)	クレジットカード又はコンビニ端末により払い込むこと。 詳細は本要項 21 ページ「(2) 検定料の納付」及び本要項 26～27 ページの「入学検定料支払い方法」を参照すること。 支払い完了後、「収納証明書」を切り取り、<u>「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、他の出願書類とともに提出すること。</u> なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。	○	○	○
受験票等返信用封筒	市販の封筒(長形 3 号: 23.5cm×12cm)に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、110 円分の切手をはったもの。	○	○	○
ラ ベ ル 票	指定のラベル票に、合格通知及び入学手続関係の書類を受ける郵便番号・住所・氏名(本人氏名)・電話番号を記入すること。	○	○	○
出 願 書 類 等 提 出 明 細 票	提出欄に☑印をつけること。	○	○	○
演 奏 曲 目 届	指定の用紙を用いること。	音楽芸術分野 声楽・器楽受験者のみ		

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
作 品 （ 楽 譜 ）	音楽芸術分野志願者のうち専門科目を作曲で受験する場合は、3年以内に志願者本人が作曲した作品3点を提出すること。なお、提出した作品（楽譜）は返却しない。	音楽芸術分野 作曲受験者のみ		
演 奏 活 動 の 実 績	音楽芸術分野を受験する場合は、これまでに 行ってきた演奏活動の実績を A4 判用紙 2 枚程度（書式は任意）にまとめたもの。		音楽芸術分野 受験者のみ	
ポ ー ト フ ォ リ オ	造形芸術分野におけるこれまでに制作した作品や活動実績等をまとめたPDFファイル。		造形芸術分野受験者のみ メール送付	
学 士 の 学 位 授 与 証 明 書	大学改革支援・学位授与機構(旧：大学評価・学位授与機構)が発行したもの。	該 当 者		
受 験 承 諾 書	指定の用紙を用い、大学院在学者については所属研究科長が、官公庁・会社等に在職したまま入学しようとする者については所属長が作成したもの。	大学院に在学している者または官公庁・会社等に在職したまま入学しようとする者		
住 民 票 の 写 し	受験のために滞在し、外国人登録をしていない者は、パスポートの写しを提出すること。	外国人で、住民登録をしている者		

備考

(注1) 外国において、学校教育における課程を修了(見込)した者については、最終学校の成績証明書及び卒業証明書を原本で提出すること(原則として原本とするが、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けること。)。日本語訳も併せて提出すること。

(注2) 入学願書と証明書等の氏名が異なる場合は、変更となった事実を証明できる書類の写しを添付してください。(例. 運転免許証の裏面、戸籍抄本等)

(注3) 出願資格の「1 一般入試」、「2 社会人入試」の(2)及び「4 外国人留学生入試」の(2)の学位を取得見込みの者により出願する者は、さらに次の書類を提出すること。
学位授与申請受理証明書又は「大学改革支援・学位授与機構」に学位授与の申請(予定)をしている旨が明記されている証明書(様式任意)で、出身大学長(出身学校長)が作成したもの。

(2) 検定料の納付

①検定料 30,000 円

(注) 本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要である。

②払込期間 日本時間の16:30まで(厳守)

選 抜 区 分	払 込 期 間
一般入試, 社会人入試, 外国人留学生入試	令和7(2025)年10月16日(木)～10月31日(金)

③払込方法

- ・日本国内から出願する場合は、クレジットカード又はコンビニ端末から支払うこと。日本国外から出願する場合は、クレジットカードで支払うこと。
- ・いずれの方法で支払う場合でも、別途必要となる手数料については、志願者が負担すること。
- ・支払い方法の詳細については本要項26～27ページも併せて確認すること。
- ・検定料の支払後、「収納証明書」(ファミリーマートで支払った場合は、レシート)を「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、出願期間内に本学に届くように提出(郵送(書留速達)又は持参)すること。
- ・なお、所定の方法で検定料を払い込むことが難しい場合は、本要項の目次下に記載されている「問合せ・書類送付先」の担当部署へ相談すること。

④検定料の返還

既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

- ・ 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。)
- ・ 誤って検定料を二重に払い込んだ場合
- ・ 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合

⑤返還についての問合せ先

本要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

なお、申出期限は令和8(2026)年 3月31日(火)までとする。

(3) 出願方法

入学志願者は、「(1)出願書類」に掲げる書類等を取りそろえ、指定の宛名シートをはり付けた角形2号封筒(33.2cm×24cm)を用いて、下記出願受付期間中に提出すること。

なお、郵送の場合は書留速達とすること。

選 抜 区 分	出 願 受 付 期 間
一般入試, 社会人入試, 外国人留学生入試	令和7(2025)年10月23日(木)～10月31日(金) (土・日曜日を除く。)

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。

郵送の場合も受付期間内に必着のこと。

■出願書類等の提出先：本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

(4) 出願上の注意事項

出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めない。

2 入学者選抜方法

入学者の選抜は各分野で指定する学力試験等(筆記試験・面接・実技試験)及び出願書類の審査結果を総合して行う。

したがって、志願する分野の課す学力試験等をすべて受験しなければ失格となる。

(1) 試験期日

選 抜 区 分	試 験 期 日
一般入試, 社会人入試, 外国人留学生入試	令和7(2025)年11月15日(土)

(2) 試験科目及び時間割

【音楽芸術分野】

選 抜 区 分	外国語科目 (英語)	専門科目 (選択科目)	専門科目(共通科目) ・面接
一 般 入 試	9時00分～10時00分	10時30分～12時00分 ・声楽 ・器楽 ・作曲 ・音楽教育 } 1科目 選択	13時00分～ ※専門科目(共通科目) と面接を行う。

選 抜 区 分	外国語科目 (英語)	専門科目 (選択科目)	専門科目 (共通科目) ・面接
社 会 人 入 試		10 時 30 分～12 時 00 分 ・ 声楽 ・ 器楽 ・ 作曲 ・ 音楽教育 1 科目 選択	13 時 00 分～ ※面接のみ ※専門科目 (共通科目) はありません。
外国人留学生入試			

○外国語科目では、辞書 1 冊の持ち込みを認める。(専門用語辞書及び電子辞書のたぐいは、持ち込みを認めない。)

○共通科目(一般入試)

①コンコーネ 50 番練習曲の弾き歌い(下記の番号より当日 1 曲指定)

19 番, 25 番, 29 番, 32 番, 37 番

②音楽一般についての口頭試問

○選択科目(一般入試・社会人入試・外国人留学生入試)

①声楽：実技試験

演奏時間 10 分程度の任意の 1 曲又は数曲を暗譜で演奏すること。

伴奏付きの作品を演奏する場合には、伴奏者を同伴すること。

②器楽：実技試験

◆ピアノで受験する者

a 及び b で 15 分程度のプログラムを暗譜で演奏すること。ただし、反復記号は省略すること。

a ハイドン、モーツァルト及びベートーヴェンのピアノ・ソナタから任意の一つの楽章(ただし、緩徐楽章を除く。)

b 任意の 1 曲(楽章)又は数曲

◆管弦打楽器で受験する者

演奏時間 10 分程度の任意の 1 曲又は数曲を暗譜で演奏すること。

伴奏付きの作品を演奏する場合には、伴奏者を同伴すること。

演奏楽器を各自持参すること。ただし、コントラバス及びマリンバは、本学のものを使用してもよい。

③作曲：実技・筆記試験(所要時間 90 分)機能と声に基づく、転調を含むバス課題、ソプラノ課題の試験を実施する。

④音楽教育：筆記試験(所要時間 90 分)を実施する。

【造形芸術分野】

選 抜 区 分	外国語科目 (英語)	専門科目	面 接
一 般 入 試	9時00分～10時00分	10時30分～12時00分 ・ 絵画 ・ 彫刻 ・ デザイン ・ 美術理論・美術史 ・ 美術教育	13時00分～
社 会 人 入 試		} 1科目選択	
外国人留学生入試			

○外国語科目では、辞書 1 冊の持ち込みを認める。(専門用語辞書及び電子辞書のたぐいは、持ち込みを認めない。)

○面接試験においては、試験当日に、2 年以内に受験者が制作した作品 2 点(大きさは特に制限しない)を持参すること。原則として本人が搬入すること。

作品の搬入が困難な場合は、写真(キャビネ以上)で代替してもよい。ただし、作品には、制作証明書(指導教員、所属長等の証明するもの、様式は自由)を添付すること。

なお、主として理論的研究を志望する者は、1 点以上 2 点以内の論文・報告書等を持参する作品に代えることができる。

出願時に提出するポートフォリオに関する注意事項

- ・これまでの造形芸術分野における活動実績等を、PDF ファイルにまとめ、出願時に以下の方法により提出すること。

PDF ファイルの 1 ページ目とファイル名に「氏名」を入力すること。

PDF ファイルは、オンラインストレージサービスを利用し、ダウンロードリンクの URL を出願受付期間内に地域教育文化学部入試担当へメールで送付すること。

地域教育文化学部入試担当メールアドレス

yu-nyuiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- ・専門科目を絵画で受験する者は、入学志願者本人が制作した絵画作品を 3 点以上掲載すること。
- ・専門科目を彫刻で受験する者は、入学志願者本人が制作した彫刻作品を 3 点以上掲載すること。
- ・専門科目をデザインで受験する者は、入学志願者本人がデザインした作品を 3 点以上掲載すること。
- ・専門科目を美術教育または美術理論・美術史で受験する者は、入学志願者本人による主要な活動実績(論文や報告書など)の概要を 3000 字程度にまとめたものを掲載すること。

【スポーツ科学分野】

選 抜 区 分	外国語科目 (英語)	専門科目	面 接
一 般 入 試	9 時 00 分 ～10 時 00 分	10 時 30 分～12 時 00 分 ・ トレーニング科学 ・ スポーツバイオメカニクス ・ スポーツ社会学 ・ コーチング学 ・ スポーツ心理学 ・ 体育科教育学, スポーツ教育学 ・ スポーツ栄養学 ・ 食健康科学 ・ スポーツ生理学	13 時 00 分～
社 会 人 入 試		} 2 科目 選択	
外国人留学生入試			

○外国語科目では、辞書 1 冊の持ち込みを認める。(専門用語辞書及び電子辞書のたぐいは、持ち込みを認めない。)

(3) 試験の配点

①一般入試(合計 400 点)：外国語科目(100 点)，専門科目(200 点)，面接(100 点)

②社会人・外国人留学生入試(合計 300 点)：専門科目(200 点)，面接(100 点)

(4) 試験場 山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町一丁目 4 番 12 号)

3 合格者の発表

選 抜 区 分	合 格 発 表 日
一般入試，社会人入試， 外国人留学生入試	令和 7(2025)年 12 月 1 日(月) 11 時

本人宛てに合格通知書を送付する。

また，社会文化創造研究科ホームページ(<https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp>)内に合格者の受験番号を掲載する。電話等による合否の問合せには一切応じない。

4 入学手続

合格者には，合格通知書及び入学に際し必要な書類を送付する。

(1) 入学手続期間

選 抜 区 分	入 学 手 続 期 間
一般入試，社会人入試， 外国人留学生入試	令和 7(2025)年 12 月 8 日(月)～12 月 11 日(木)

受付時間は，9 時から 16 時 30 分までとする。

(2) 提出書類

入学誓書，学生証用写真はり付け用紙等

(3) 入学料

入学料 282,000 円 (注)入学手続の際に，入学料を納付する。

5 追加合格

入学手続完了者数が入学定員に満たない場合は，追加合格を行う場合がある。

追加合格を行う場合の入学意思の確認は，令和 7(2025)年 12 月 12 日(金)から 12 月 18 日(木)までの間に入学願書の「現住所」欄に記入された電話番号に問合わせて行うので，電話番号の記載に十分注意すること。

Ⅶ 共通事項

1 入学検定料支払い方法

【クレジットカードで支払う場合】

インターネット決済 e-apply 「学び・教育」 出願・申込サービス
(<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>)にアクセスする。



「はじめに」を選択し内容を確認する。
その後、「申し込む」ボタンを選択する。



個人情報等（志願する研究科・専攻・コース名、氏名、住所など）を選択・入力する。



クレジットカード（VISA・Master・JCB・AMERICAN EXPRESS・MUFG カード・DC カード・UFJ カード・NICOS カード）により支払う。



「収納証明書」を印刷し、切り取り線から切り取る。



「収納証明書」を「収納証明書はり付け台紙」にはり付け、他の出願書類とともに、入学を志願するコースに郵送（書留速達）又は持参により提出する。

【コンビニ端末から支払う場合】※日本国内からの出願者限定

コンビニ（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート）に設置している端末機で「入学検定料等支払」もしくは「大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い」を選択する。（手順はコンビニによって異なるため、本要項末尾に添付の「入学検定料支払い方法」を確認してください。）



大学名・志願する研究科・専攻・コース名等を選択し、個人情報等を入力する。



出力される払込票を持って、コンビニのレジで検定料を支払う。



「収納証明書」を受け取り、切り取り線から切り取る。（ファミリーマートで支払った場合は、レシートを受け取る。切り取る必要は無い。）



「収納証明書」（ファミリーマートで支払った場合は、レシート）を「収納証明書はり付け台紙」にはり付け、他の出願書類とともに、志願するコースに郵送（書留速達）又は持参により提出する。

【検定料支払いに関するお問合せ先】

運用会社 株式会社キャリアタス

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

0120-202079（24時間受付）

入学検定料支払方法

コンビニ端末でお申込みの場合（インターネット不要）

クレジットカードでお申込みの場合

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON Loppi MINISTOP Loppi
<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

FamilyMart マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「保険／学び・教育」よりお申込みください。



保険／学び・教育

学び・教育

大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

山形大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券してください。

※画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」（マルチコピー機）または「申込券」（Loppi、マルチコピー機）が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。



（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ）

（ファミリーマート）

②お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」（マルチコピー機）または「払込受領証」（Loppi）。

②お支払い後レシート（受領書）をお受け取りください。

お支払いが完了しましたら、入試要項などの指示に従って出願書類を郵送してください。

コンビニで受け取った「取扱明細書」「（レシート）」等または「受領書（レシート）」等は出願が完了するまで大切にお手元にて保管してください。



出願書類



<パソコン・スマートフォン>

※出願期間最終日のインターネットからの申込みは日本時間の16時30分までとなります。余裕を持ってご利用ください。
※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス



<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>



申し込む から
画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、次のページで表示される「受付番号（12桁）」を必ず控え、お支払い画面に進んでください。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い



●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、前段の画面で入力する基本情報は、必ず受験生本人のものを入力してください。

お支払い後に上記URLまたは支払い完了メールに記載されたURLへアクセス（※1）し、

「収納証明書の印刷」 から
PDFファイルをダウンロードの上、印刷してください。

※1：お申込の際に発行された「受付番号（12桁）」が必要です。

上記URLからアクセス

※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> TEL 0120-202079 / Eメール cvs-web@career-tasu.co.jp

※コンビニ店頭ではお応えできません。

2 受験者心得

(1) 「山形大学大学院社会文化創造研究科(修士課程)受験票」について

- ①試験当日は、「山形大学大学院社会文化創造研究科(修士課程)受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示すること。
- ②試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従うこと。また、試験室等では「山形大学大学院社会文化創造研究科(修士課程)受験票」に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着くこと。
- ③試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとること。
- ④受験票を紛失した場合は、速やかに志願コースの担当部署（目次ページ参照）に申し出ること。
- ⑤受験票は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になるため、大切に保管すること。

(2) 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があるため、天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに山形市に到着するなど、時間に十分な余裕をもって試験場へ向かうようにすること。

(3) 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに試験場に到着すること。

(4) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けること。

(5) 試験開始後 20 分を経過した後は、試験室への入室を認めない。

(6) 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがある。

(7) 筆記試験等における留意点について

- ①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)、時計(辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く。)、定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)、目薬とする。

②試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはならない。

③試験時間内の退室は認めない。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従うこと。

④不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とする。

⑤解答用紙の所定の位置に大学受験番号が正しく記入されていない場合は、当該科目は採点されず、当該科目を受験していないとみなすことがあります。

⑥解答用紙に記入した文字や図が乱雑である、文字が薄い等により、採点時に判読できない場合、正確に採点されないことがあります。

(8) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類は試験場に入る前に必ず電源を切っておくこと。アラーム機能をもつ電子機器類はアラームの設定を解除した上で電源を切ること。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがある。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となる。

(9) 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはならない。

(10) 試験終了までは、試験場となっている建物の外に出ることはできないので留意すること。

(11) 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止する。

(12) 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしない。

- (13) 試験当日試験場付近や最寄りの駅周辺で合否メール等の受付をする者がいる。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じてても本学は一切責任を負わないため、十分注意すること。また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいるが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報を悪用される場合があるため、慎重に対応すること。

3 授業料

授業料は、入学後に納付する。納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できる。

■授業料：年額 535,800 円(予定額)

(注1) 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

(注2) 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知する。

4 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置

本研究科では、社会人の受入れに当たり、教育・研究上特に必要と認められる場合、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、次の方法で履修することができる。

- (1) 通常の時間帯(8時50分～17時50分)以外に、特例措置の時間帯(18時00分～21時10分)を設定する。
- (2) 必要に応じて学生の休業日(土・日曜日あるいは夏季・冬季休業期間)も履修できるものとする。
- (3) 特例措置の時間帯による履修を希望する者は、指導教員と十分な相談の上、履修計画を作成し、各年度初めに研究科長に申請するものとする。

5 長期履修学生制度

学生が職業を有しているなどの事情により、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができる長期履修学生制度がある。ただし、長期履修の期間は4年を超えることができない。

この制度を利用する場合は、授業料は、標準修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた期間年限で分割して納めることができる。

なお、長期履修期間の年限等この制度の詳細については、本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」へ照会すること。

6 入学試験個人成績の開示・請求方法について

- (1) 開示請求受付期間：令和8(2026)年 5月 1日～ 5月 31日(消印有効)
受付時間は、9時から16時30分までとする。
(土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除く。)
- (2) 請求者：受験者本人に限る。(代理人による請求は認めない。)
- (3) 請求方法：志願コースの担当部署(目次ページ参照)の窓口への持参又は郵送により受け付ける。

次の①～③の書類により申し込むこと。

なお、郵送による申込の場合は、担当部署宛ての封筒の表に「社会文化創造研究科入試成績開示申込み」と朱書きすること。

①令和 8(2026)年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書

申込書は、令和 8(2026)年 4 月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードすること。

②本学受験票(写しは不可)

内容を確認後、窓口申込時もしくは成績返送時に返却する。

③返信用封筒(長形 3 号(23.5 cm×12 cm)に 460 円分の切手をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの)

(4) 開示方法：請求のあった日の翌日以降 2 週間以内を目途に、郵送(簡易書留)により開示する。ただし、請求の内容によっては、時間を要する場合がある。

(5) 請求先及び問合せ先：本募集要項の目次の下部に記載の「問合せ・書類送付先」を参照すること。

7 その他

本学は、入学試験に関する個人情報は次の目的のために利用する。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはない。

①入学者選抜試験実施のため

②入学手続業務のため

③入試統計調査のため

④就学上必要な本学での業務のため

⑤その他大学として必要な業務のため